

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2003-176273(P2003-176273A)
【公開日】平成15年6月24日(2003.6.24)
【出願番号】特願2002-375683(P2002-375683)

【国際特許分類】

C 0 7 D 231/12 (2006.01)
A 6 1 K 31/192 (2006.01)
A 6 1 K 31/196 (2006.01)
A 6 1 K 31/198 (2006.01)
A 6 1 K 31/40 (2006.01)
A 6 1 K 31/405 (2006.01)
A 6 1 K 31/415 (2006.01)
A 6 1 K 31/4152 (2006.01)
A 6 1 K 31/4155 (2006.01)
A 6 1 K 31/43 (2006.01)
A 6 1 K 31/438 (2006.01)
A 6 1 K 31/454 (2006.01)
A 6 1 K 31/496 (2006.01)
A 6 1 K 31/519 (2006.01)
A 6 1 K 31/52 (2006.01)
A 6 1 K 31/5377 (2006.01)
A 6 1 K 31/541 (2006.01)
A 6 1 K 31/5415 (2006.01)
A 6 1 K 31/55 (2006.01)
A 6 1 K 31/5513 (2006.01)
A 6 1 K 31/573 (2006.01)
A 6 1 K 31/616 (2006.01)
A 6 1 K 31/635 (2006.01)
A 6 1 K 31/664 (2006.01)
A 6 1 K 33/24 (2006.01)
A 6 1 K 45/00 (2006.01)
A 6 1 P 19/02 (2006.01)
A 6 1 P 29/00 (2006.01)
A 6 1 P 37/06 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
C 0 7 D 207/34 (2006.01)
C 0 7 D 231/14 (2006.01)
C 0 7 D 401/12 (2006.01)
C 0 7 D 401/14 (2006.01)
C 0 7 D 403/12 (2006.01)
C 0 7 D 405/04 (2006.01)
C 0 7 D 409/12 (2006.01)
C 0 7 D 413/12 (2006.01)
C 0 7 D 491/113 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 231/12 D
A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/196
A 6 1 K 31/198
A 6 1 K 31/40
A 6 1 K 31/405
A 6 1 K 31/415
A 6 1 K 31/4152
A 6 1 K 31/4155
A 6 1 K 31/43
A 6 1 K 31/438
A 6 1 K 31/454
A 6 1 K 31/496
A 6 1 K 31/519
A 6 1 K 31/52
A 6 1 K 31/5377
A 6 1 K 31/541
A 6 1 K 31/5415
A 6 1 K 31/55
A 6 1 K 31/5513
A 6 1 K 31/573
A 6 1 K 31/616
A 6 1 K 31/635
A 6 1 K 31/664
A 6 1 K 33/24
A 6 1 K 45/00
A 6 1 P 19/02
A 6 1 P 29/00 1 0 1
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 43/00 1 1 1
C 0 7 D 207/34
C 0 7 D 231/14
C 0 7 D 401/12
C 0 7 D 401/14
C 0 7 D 403/12
C 0 7 D 405/04
C 0 7 D 409/12
C 0 7 D 413/12
C 0 7 D 491/113

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月9日(2007.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

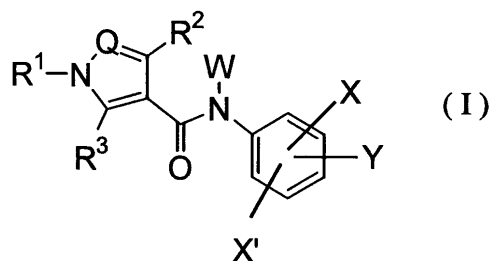
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 一般式

【化1】



(式中、 R^1 は置換アリール、アリールアルキル、置換基を有していてもよいヘテロアリール、ヘテロアリールアルキルまたはシクロアルキルを示す。 R^2 、 R^3 は同一または異なって、それぞれ水素、アルキル、ハロゲン、水酸基、アルコキシ、置換基を有していてもよいアミノまたはフェニルを示す。Qは窒素原子または基C - R^4 (基中、 R^4 は水素、アルキル、ハロゲンまたは置換基を有していてもよいアミノを示す。)を示す。Wは水素、アルキル、ヒドロキシアルキル、アシルオキシアルキル、アミノアルキル、ヒドロキシカルボニルアルキルまたはアルコキシカルボニルアルキルを示す。Xはハロゲン、シアノ、ニトロ、アミノ、アルキル、アルコキシ、カルボキシ、アルコキシカルボニル、カルバモイル、アルケニル、アルキニル、ハロアルキルを示す。X'は水素、ハロゲン、シアノまたはニトロを示す。Yはアルキル、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシカルボニルアルキル、置換基を有していてもよいアミノアルキル、水酸基、アルコキシ、ハロアルコキシ、アリールオキシ、シクロアルキルオキシ、ヒドロキシアルコキシ、ヒドロキシカルボニルアルコキシ、置換基を有していてもよいアミノアルコキシ、メルカプト、アルキルチオ、ヒドロキシアルキルチオ、ヒドロキシカルボニルアルキルチオ、置換基を有していてもよいアミノアルキルチオ、基O - Het (基中、Hetは置換基を有していてもよい酸素原子または窒素原子から選ばれる複素原子を含有した飽和複素環を示す)または基N (Z^2) (Z^3) (基中、 Z^2 、 Z^3 は同一または異なって、それぞれ水素、アルキル、ヒドロキシアルキルまたはアミノアルキルを示すか、あるいは Z^2 、 Z^3 が隣接する窒素原子と一緒に環内に酸素原子、硫黄原子、窒素原子を1ないし2個含有していてもよい環状アミンを形成する基を示す。)を示す。)により表されるアミド化合物またはその医薬上許容しうる塩を有効成分とする医薬組成物。

【請求項2】 1 - (4 - クロロフェニル) - N - [3 - シアノ - 4 - (4 - モルホリノピペリジン - 1 - イル)フェニル] - 5 - メチルピラゾール - 4 - カルボキサミドまたはその医薬上許容しうる塩を有効成分とする医薬組成物。

【請求項3】 自己免疫疾患の予防または治療のための請求項1または2に記載の医薬組成物。

【請求項4】 慢性関節リウマチの予防または治療のための請求項1または2に記載の医薬組成物。